

※手書きで送っていただいた作品でしたが、そのまま PDF に読み込むと見づらいため、PHD 職員の方で Word に起こしています。

「国際協力とスポーツのコラボ」

神戸学院大学 3 年 綾部勇太

僕は小さい時からスポーツをやってきたので、国際協力とスポーツのコラボについて考えたいと思う。まずは、僕が今やっているサーフィンについて考える。サーフィンと国際協力とどのようにつなげるかだが、まずは、サーフィンを広めるところから始める。サーフィンはまだまだマイナーなスポーツだが、海に面している国であれば、ほとんどサーフィンが、できると思う。野球のようにたくさん道具をそろえなくても、サッカーのボール 1 つあればできるように、板さえあればできるスポーツだ。サーフィンが広まり、サーフィン人口が増えたと行くといくつかのメリットがあると思う。まず、海がきれいになると思う。誰でも、自分が泳ぐ海は、きれいにしたいと思う。きれいにしたいという気持ちの人がたくさん増えれば、海にごみを捨てなくなると思う。例えば、工場から出る有害物質などを海に流さなくなると思う。これにより、その有害物質などを食べた魚を食べて、公害病になる人がいなくなると思う。これが 1 つ目の水質汚染が解決するのではないかというメリットだ。次に、経済が少し良くなると思う。世界にはまだまだ開発されていないサーフィンスポットがたくさんある。地元の人たちが新たなサーフィンスポットを開発することで、旅行客などが増えると思う。サーフィンをする人達は、新しい場所を求めたりしている。新たなスポットが見つければ、世界中のサーフィン愛好家たちが、旅行に来るのではないかと思う。波のある地域に限るかもしれないが、旅行者が来ることで、経済が良くなるのではないかと思う。世界にはまだまだたくさんサーフィンのスポットがあると思う。サーフィンをする人々が世界中に増えれば、たくさんスポットが見つけれられると思う。そしてそこは、新たな旅行先になると思う。サーフィンは、世界各地で大会などが行われている。新しいスポットを見つけ、大会会場に選ばされると、世界のプロサーファーが集まり、またそれを観戦しにくる人たちが集まる。大会を行えば、大きくその地域にお金がおちるのではないかと思う。サーフィンを広め、サーフィン人口を増やすことで、新たなスポットが生まれ、そしてその地域の経済は、少し豊かになるのではないかと考えた。そしてなによりサーフィンは、とても心がいやされるスポーツでもある。海という自然の中でやるスポーツなので、自然からエネルギーをもらい、また自然の美しさを知ることができる。海ではみんな笑顔になれる。新しいスポットを見つけ世界中の人たちが集まることで、世界中の人たちとコミュニケーションがとれる。サーフィンの世界では、地元の人たちに、敬意を払うというルールがある。海にいくと、みんなあいさつをしあっている。町中で外国人に会ってもみんな話さないが、海で会うとあいさつをするので、そこから会話が生まれ、コミュニケーションをとることができる。町中より海の方が外国人の方とコミュニケーションがとりやすいと思う。グローバル化してきている世界で、このように世界の人たちとの交流の場ができるのは、とても良いことだと思う。サーフィンが広まることで、海がきれいになり、地域が豊かになり、交流の場が増えると僕は考えている。開発

途上国などの地域を活性化させる支援が国際協力につながる。その支援は、サーフィンというスポーツを広めることだ。サーフィンは球場などがいらず、自然を相手にするスポーツなので、あまりお金のない途上国でも広がりやすいのではないかと考えた。このような事から国際協力とスポーツのコラボについて考えた。サーフィンはオリンピック種目にも追加された。世界中にサーフィンが広まることを期待している。